

“みんなに優しい和歌山を目指して”

和歌山城内のバリアフリーを考える準備会（仮称）

第 1 回

記録 川島

日 時	平成 23 年 12 月 5 日(月) 16:00~18:00
場 所	みんなの学校
参加メンバー (敬称略・順不同)	吉本昌純（市議会議員） 橋本雅史（建築士） 笹尾恭子（NPO 法人ハッピーボックス代表） 堀内省吾・玉井寛昭（城プロジェクトメンバー） 川島寛子（城プロジェクト代表） 計 6 名
議 案	1 メンバー自己紹介 2 現在実施されている登城サポートと準備会設立への経過の説明（川島） 3 姫路城で取り組んでいるバリアフリーの説明（堀内） 4 なぜ今和歌山城内のバリアの軽減が必要なのか？（笹尾） 5 和歌山城内のバリアフリーの目的と目標と実現に向けて必要な事（豊田） 6 具体案について意見交換（文化庁の許可・設計・予算など）（橋本） 7 その他（名称・事務局・役員・会則について） 8 まとめと次回日程

【議案 1 について】参加者メンバーより

【議案 2 について】川島より写真にて説明

【議案 3 について】堀内さんより写真と資料にて説明

【議案 4 について】笹尾さんより

「和歌山城が現在の“和歌山市民のシンボルになっている”を大切に、県内県外のあらゆる人に気軽に訪れて頂ける、本当の意味での癒しの地域にしていく起爆剤や仕掛けとして国体をにらみ、アプローチしていくことができればと思っています。また、市民県民の方々が、これをきっかけに興味を持って頂き、ユニバーサルの意識を喚起でき、人権意識の高い成熟した地域としていけたら最高であると思います。」

【議案 5 について】豊田さん急用のため欠席。川島代読。

「障害者の権利に関する条約が制定され、公共施設のバリアフリーは今後ますます重要になってくる。そのシンボルとして、今回の和歌山城を舞台にしたプロジェクトは意義がある。国体に向けて企画を進めたいとの話ですが、当面の目標としては良いと思います。実現可能性のある企画提案がポイントになると思います。」

【議案 6 について】橋本さんに進行をお願いする。

実現性を重視せず自由な発想でどんなバリアフリーがいいと思うかそれぞれに意見を出し合う。
バリアフリーに関わらず和歌山城の利用促進に向けた意見を出し合う。

- お城内の案内看板：日本語+外国語 標記
- 市駅・和駅から和歌山城のルートがわかりにくい（E X：案内所や歩道へ着色するとか）
- タクシーのマナー
- 全体としての迎える側の意識向上
- 道案内ガイド

- 和歌山市の観光スポットとして市民の意識向上
- 売店の強化
- トイレの整備
- 他観光スポットとのセット券など
- 和歌山城の利用状況の情報が不足
- 歩き部分だけでも砂利から風情のある舗装
- 会としての目標設定
- エレベーターの設置
- 循環バスの復活

【議案 7 について】議案にのぼらず。

【議案 8 について】まとめ

- ・目標を国体と定め、そのためのタイムスケジュールを立てる。(担当 橋本さん)
- ・文化庁への申請や認可にかかる日数などについて調べる。(担当 堀内さん)
- ・目的はバリアフリーにしぼって考える。(付帯効果として観光都市のイメージアップも考えられる)
- ・和歌山城の来城者に関するデータを調べる。(担当 吉本さん・堀内さん)
- ・県の教育員会文化史跡課や国体担当課との連携も考えていく。
- ・MI を作り情報を共有していく。(担当 川島)
- ・毎月 1 回定例会を設ける。第 1 金曜日 18 : 00 から

次回は 平成 24 年 1 月 6 日 (金曜日) 場所 みんなの学校 (ぶらくり丁商店街内)